

キルトジャパン Quilts Japan

2010年3月 133号

針休めの針仕事

端裂を生かしたコインケース 岡野栄子

●用意するもの●

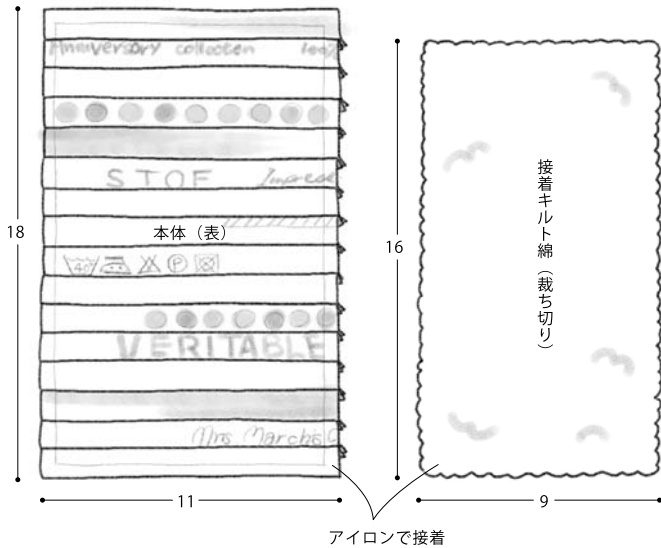
[基本]

- ・布の耳など長さ11cmの布を16～20本位
- ・口布 12×10cm
- ・中袋 19×11cm
- ・長さ10cmバネ式口金1個
- ・接着キルト綿 9×16cm
- ・飾りボタン適宜

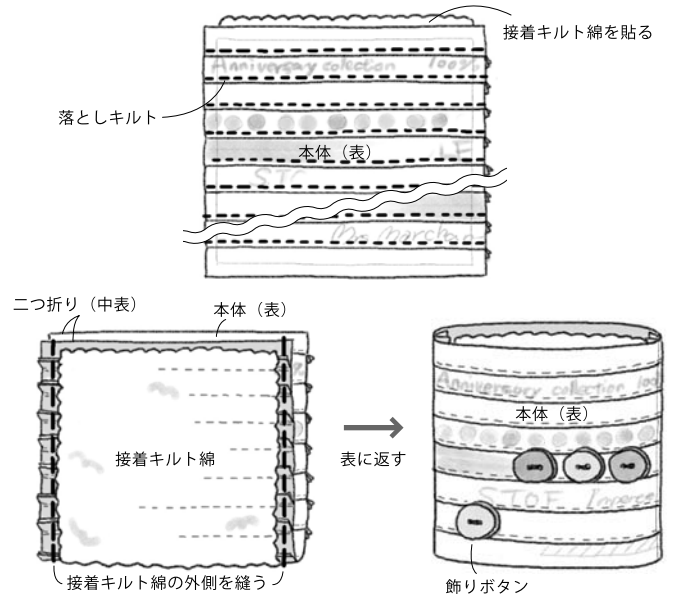


撮影/渡辺淑克 スタイリスト/植松久美子 イラスト/小池百合穂

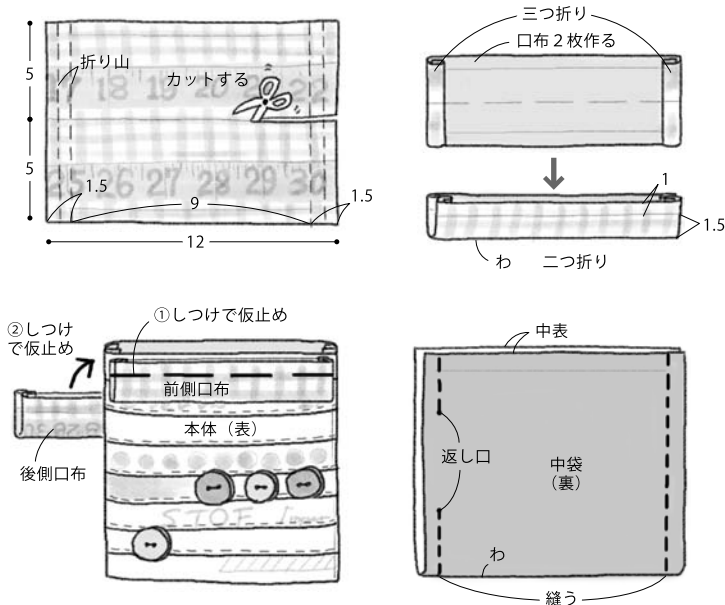
1 端裂で好みの枚数をはぎ合わせたら、裏に裁ち切りの接着キルト綿を接着します。



2 すべての縫い合わせの際に落としキルトをし、中表に合わせて二つ折りにします。接着キルト綿をよけて両端を縫い、表に返し飾りボタンを縫い止めます。



3 図のように口布を2枚作り、本体の入れ口前後に口布を重ね、縫い位置にしつけで仮止めします。返し口を作った中袋を作ります。



4 本体と中袋を中表に重ね入れ、入れ口の周囲を縫います。中袋の返し口から表に返して、口布にバネ式口金を取りつけます。

